学校番号	２１５

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校倫理　新訂版」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人生や命や物事の本質や「真善美」など先達がどう考えたかを調べたい人興味のある人が向いています。看護など生命にかかわる仕事で面接・小論文のあるひとも受講が可能ならとることが望ましいです。また、受験で歴史はとらないが、日本史・世界史の概略を知りたい人も受講可能です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活の中での倫理の課題について、知識を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
「倫理についての基本的な知識」と「倫理についての情報を集めて読み解く能力」が身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
人の思想や三大宗教を学ぶことにより、自らの思索の助けとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	倫理の課題について、理解するための知識を身に付ける。	倫理の課題について、多面的・多角的に考え、それを文章や発表の形で表現する。	日々の生活の中で倫理的課題を意欲的にとらえ追求する姿勢を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	青年期の課題と自己形成	・人間・青年期について 人間性の定義やライフサイクルの中の青年期の特徴を学習する。 ・ソクラテス・プラトン・アリストテレスらが考えた課題とその解決方法を学ぶ。 ・キリスト教・イスラム教・仏教についてそれぞれの宗教の基本の考え方を学習する。	a: 先人の著作物に触れて、問題の把握の仕方、解決の仕方を学ぶ。 b: 先人の考え方についての印象を文章にしよう。 c: ライフサイクルの中での倫理的課題に関心を持って、授業に積極的に参加できる。	定期考査	定期考査	ノート提出 小テスト
2学期	科学技術と人間	・ベーコン・デカルトなどの思想を学ぶ。 ・社会契約説について学習する。 ・功利主義の考え方を学習する。 ・啓蒙思想・国家主義などの思想を学習する。	a: 先人の著作物に触れて、問題の把握の仕方、解決の仕方を学ぶ。 b: 社会契約説や功利主義の意義について考え、まとめ発表できる。 c: 社会契約説や功利主義などの意義について関心を持って考えることができる。	定期考査	定期考査	ノート提出 小テスト
3学期	人間への新たな問い	現代を生きた思想家たち(レヴィ=ストロース・ロールズなど)の考え方に触れる。	a: 現代思想家の著作物に触れて、問題の把握の仕方、解決の仕方を学ぶ。 b: 現代社会の課題と現代の思想化の考えを、自分自身で考えまとめることができる。 c: 現代社会を生きた彼らの問題意識に関心を持って考えることができる。	定期考査	定期考査	ノート提出 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度